

CCライセンスに関する おさらいについての 「おさらいワークショップ」の おさらい

新潟大学学術情報部長
JPCOAR運営委員
JAIRO Cloud共同運営本部長

高橋菜奈子

「機関リポジトリの一手を考える」

- 「次期活動方針検討タスクフォース」が、オープンアクセス推進タスクフォースのイベントシリーズを継承
 - 会員機関のみならずとともに次期活動に向けた情報収集・意見交換を行う機会
- 当面の予定
 - 第12回 4月16日（水）14:00-15:00 CCライセンスに関するおさらいについてのおさらいワークショップのおさらい
 - 第13回 4月22日（火）11:30-12:00 COARが東京にやってくる！ズバリ見どころは！？（ちまたわ#4）
 - 第14回 4月24日（木）14:00-15:00 RDA 24th Plenary Meeting参加報告会【国立大学図書館協会資料委員会との共催】
 - 第15回 4月25日（金）11:30-12:00 まもなくCOAR2025！続ズバリ見どころは！？（ちまたわ#5）
 - 第16回 5月22日（木）15:00-16:00 会長職をどうする？（どうするJPCOAR#1）

OATFの公開勉強会のおさらい

- 問題提起のきっかけ
 - 研究・イノベーション学会第39回年次学術大会 企画セッションのディスカッションからCCライセンスがついていないものはオープンアクセスとは言えないという指摘。
 - 機関リポジトリのコンテンツは、CCライセンスがついていないものが多いため、他のステークホルダーから、機関リポジトリはダメだと言われてしまう、というのは望ましい未来ではないという危機感。
- 第2回の勉強会（2024.12.17）では以下のラインナップで話題提供。
 - 高橋菜奈子：問題提起
 - 鈴木康平：CCライセンス、権利保持戦略、二次著作権
 - 佐藤翔：権利保持戦略の実行状況
- 第11回の勉強会(2025.3.4)「おさらいCC」で4つの提案。
 - 最低限、CCライセンスをつけよう！（著者にCCをつけてもらおう！）
 - 出版社のポリシーをまとめたサイトで確認して、同じライセンスをメタデータに記述しよう
 - 紀要雑誌の編集者と話しをしよう！
 - アイテム単位の権利情報（dc:rights）にCCライセンスを入力しよう！
⇒コンテンツの種類ごとに議論を整理したほうがよいのでは、、、。
- Slack上で「さらにおさらいワークショップ」ワークシートに書き込む活動を実施（2025.3.5～3.19）

本日は、ワークシートを眺める会

ワークシート

リポジトリコンテンツの種類	具体例	著作権者（ライセンスをコントロールできる主体）	CC-XX等の自由なライセンスをつけることにより期待される効果、あるいは懸念点ほかなんでも気づいたこと、思うこと	ToDo
学術雑誌発表論文のセルフアーカイブ (リポジトリは二次公開先)	ある学術誌に発表された研究論文で、CC-XX等がついてないケース	通常は出版社		
	ある学術誌に発表された研究論文で、CC-XX等で公開されているケース	だれ？ 原著者かな？		
紀要（論文単体でなく雑誌として） (リポジトリが一次公開先)	「〇〇大学文学部研究紀要」	紀要によって編集母体であったり原著者であったり		
学位論文 (リポジトリが一次公開先)	S. Sakai (1986). Interconnection Networks in Highly Parallel MIMD Computers	原著者		
研究データ (リポジトリが一次公開先)	〇〇実験で得られた××の X線CTデータセット	データに著作権は生じないという考え方が主流		
その他（※右の例は教材） (リポジトリが一次公開先)	喜多一(2023). プログラミング演習 Python 2023	一応、原著者と仮定しましょう		